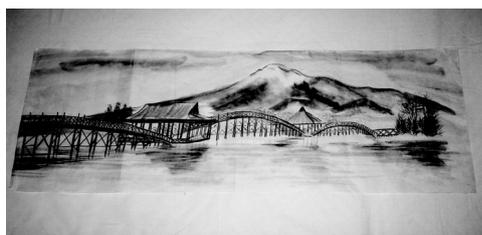


『我が古里 鶴田町』

瓜田 裕實さん (千葉県佐倉市在住)



瓜田實さん (亡父) 作の墨絵「鶴の舞橋」

古里を離れて三十五年、古里鶴田町の良さが心に染みる年代になってまいりました。

春には野山に咲き誇る桜・リンゴの花々。夏には自宅前での迎え火・送り火。秋には黄金色の稲穂・真っ赤なリンゴの実。冬にはしんしんとした月夜での干し餅作り。何事にも耐え忍んで頑張るジョッパリ精神。ちよつとのエフリコギ精神。そして何と云っても人情味溢れる人たち。そんな中で少年時代、成長できたことが今更ながら嬉しく思っています。

おり、古里に感謝の気持ちでいっぱいです。

最近、妙堂崎出身の桜井哲夫氏の「津軽の音が聞える」を読んだ時、「ああ、私もやっぱり津軽人、鶴田人」と心から実感している今日この頃です。

ところで、鶴田町の各種制度を見てみますと、町民として全国に誇れる先駆的な制度がいっぱいあります。国際化時代に向けての「フッドリバー市との姉妹都市提携」、高齢化、少子化時代に向けての「長寿祝金、児童育成支援金

制度」、町民の健康を守る「朝ごはん運動」、自然景観を大事にする「鶴の舞橋」などなど。これもひとえに、中野町長はじめ役場、商工会の皆さんの三十余年にわたる新しい町づくりのたまものです。

わが古里鶴田町はわれわれ「ふるさと鶴田会」の一人一人の心には、大きな自身と誇りを与えてくれる存在です。私も会員の一人として、町民憲章にある「高齢者が暮らし易い、若い人たちがチャレンジできる、自然に優しい町づくり」に少しでもお役に立てればと思っております。

【ケッパレ 鶴田町 日本一アズマシイ町へ】

編集うらばなし

リンゴ農家の方々はやっとフジの収穫も終わり、ほっと一息ついてる頃ではないでしょうか。今年の夏仙台の老舗デパートで、売っていたリンゴの値段を見たら、な、なんと一玉六百円！リンゴはいたただくことが多いため標準的な値段がいくらか分かりますが、この値段にはちょっとビックリしました。品種はムツで確かに色つやが良く形もきれいでした。残念なことに産地は書いてありませんでしたが、青森県産だったらいなあと思っています。

農家の皆さんが丹精込めて育てたリンゴ、今年も高値がついてくれることをお祈りします。

戸籍の窓

(10月31日現在：敬称略)

□お誕生おめでとう

町名	氏名	保護者
寺町	関 莊太	(伊佐緒)
相原町	松山 優華	(英人)
瀬良沢	高橋 瑠成	(優一)

□ご結婚おめでとう

町名	氏名
(松倉 五所川原市)	(永田 健 渡辺 美和)
(妙堂崎 平川市)	(齋藤 貴雄 木村 ゆかり)
(五所川原市 駅前通り)	(増田 和男 工藤 美加)
(大性 倉)	(芹川 剛一 石黒 和子)

■ごめい福を祈ります

町名	死亡者名	年齢
瀬良沢	泉 覚	46
妙堂崎	三上 春喜	46
尾原	成田 キ子	90
大巻	尾崎アケヨ	77
桜町	山本 正明	55
木筒	長尾喜久三	86
廻堰	中野謙之助	90
派立	吉川 八重	97
尾原	川村 ヤサ	82
胡桃館	松山 榮秀	84
菖蒲川	金田 友志	55
妙堂崎	岩間 秀男	69

(人の動き)

10月31日現在 (前月比)
 人口 15,280人 (-10人)
 男 7,181人 (-3人)
 女 8,099人 (-7人)
 世帯 5,064 (+3)

出生 4人 転入 26人
 婚姻 4組 転出 28人
 死亡 12人



(この欄に載せたくない方は、届ける時に窓口係へ申し出てください)